



映像「戦禍をみつめた木-50年目の証言」と紙芝居 ある紙芝居屋の物語 - それでも黄金バットはやってくる -

<プログラム>

PM

- 1時30分～ 開会の挨拶
- 1時40分～ DVD視聴
- 2時20分～ 紙芝居（上演：オリーブ）
- 3時10分 意見交換
- 3時30分 終了



第二次世界大戦中の1941年12月8日は、日本がアメリカ、イギリス、オランダ領を奇襲攻撃して太平洋戦争が開始された日です。それゆえこの日は開戦記念日とも呼ばれます。つくばではこの日にちなんで、戦争を絶対繰り返さないために戦争体験を語り継ぎ平和を守る活動を交流する「12.8 不戦のつどい」を毎年開戦記念日前後に開催してきました。

今年は、1945年8月2日の水戸空襲に焦点を当て、水戸市が作成したドキュメンタリー映像と水戸空襲を描いた紙芝居「ある紙芝居屋の物語～それでも黄金バットはやってくる～」を鑑賞し平和を考える会を企画しました。年の瀬の慌ただしい頃の開催ですがふるってご参加下さい。

[DVD上映] ドキュメンタリー「戦禍をみつめた木 - 50年目の証言」(1995年10月水戸市制作)

戦災当時と現在の水戸市内の移り変わりを映像で紹介

[紙芝居] 「ある紙芝居屋の物語 -それでも黄金バットはやってくる-」

水戸空襲をテーマにして、紙芝居屋のおじさんの目線から、戦争をみつめた作品

上演:オリーブ(朗読と紙芝居で「戦争、平和、命について伝える」活動をするひとたちの会)

[日 時] 12月17日(土)午後1時15分開場、午後1時30分開始

[会 場] ゆかりの森・老人福祉センターとよさと ホール(つくば市遠東639)

[参加費] おとな 500円、こども・学生 無料

※ご来場の際はマスクの着用等、新型コロナウイルス感染拡大防止対策にご協力ください。

主 催:「12.8 不戦のつどい」実行委員会

連絡先:「12.8 不戦のつどい」実行委員会 (E-mail: 12.8notsudo@gmail.com)